

東京国際空港国際線地区 貨物ターミナル事業

2009年5月29日

東京国際エアカーゴターミナル株式会社
(TIACT)

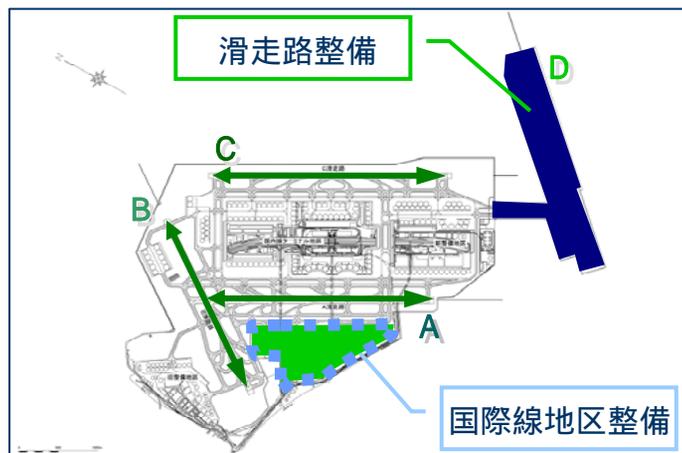


1. 会社概要

- ◆ 商号 : 東京国際エアカーゴターミナル株式会社
 英文名: Tokyo International Air Cargo Terminal Ltd. (TIACT)
 - ◆ 設立年月日 : 2006年6月22日
 - ◆ 代表者 : 代表取締役社長 加藤 輝岳
 - ◆ 資本金 : 24億円 (三井物産株式会社 100%出資)
 - ◆ 所在地 : 〒105-0004 東京都港区新橋1丁目7番6号 美スズビル4F/8F
 - ◆ URL : <http://www.tiact.co.jp/>
 - ◆ 従業員数 : 84名(2009年4月1日時点)
 - ◆ 事業期間 : 着工から30年間
 - ◆ 主な事業内容
 - ・東京国際空港国際貨物ターミナルの設置・運営・管理・賃貸事業
 - ・東京国際空港国際貨物ターミナルにおける輸出入航空貨物の蔵置・保管・荷役・貨物取扱業務及び運送業務等
- 具体的には、
- ・航空会社貨物取扱業務
 - ・航空会社事務処理代行業務
 - ・ランプサイド業務
 - ・施設貸与業務
 - ・施設維持管理業務
 - ・共同フォワード上屋貨物取扱業務
 - ・警備業務
 - ・トラック誘導業務 etc

2. 東京国際空港 国際線地区整備事業図

当社は東京国際空港国際線地区における各整備事業の中で、貨物ターミナル事業を運営致します。

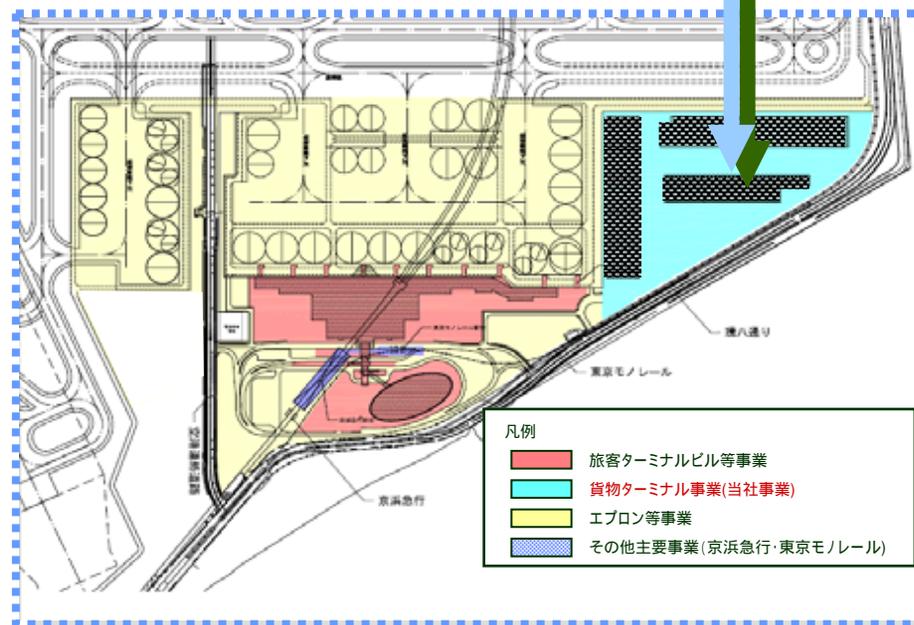


各滑走路の長さ

- A:3,000m
- B:2,500m
- C:3,000m
- D:2,500m (New)

貨物ターミナル概要

- ◆ 所在地 : 東京都大田区羽田空港2丁目(東京国際空港内)
- ◆ 敷地面積 : 約170,000㎡



3. 施設概要・建設状況



上図は最終的な施設整備計画イメージ図になります。
今後諸事情により、レイアウト等を変更する可能性があります。

建設状況

- 建設着工 : 2009年 3月 1日
- 竣工予定 : 2010年 7月末
- 工事進捗率 : 5.8% (09年4月末時点、計画通りに推進中)
現在、杭打ちや基礎工事を開始しております。

施設の特徴

- 3棟の上屋
トラックが昇降可能な2階建て上屋
無柱空間(高さ9.8m × 奥行70m)



(イメージ図)

- スカイウェイ(人と車両の動線分離)



(イメージ図)

- 太陽光発電

4. 施設利用計画

今後諸事情により、レイアウト等を変更する可能性があります。

各施設の利用計画は以下の通りです。



上図は最終的な施設利用計画イメージ図になります。



5. ターミナル運営計画

大消費に近接する立地特性を活かし、機能的で効率的なターミナル運営を実現し、航空業界の発展と物流効率化に貢献することを目指します。

- ・本邦初の施設賃貸・貨物取扱オペレーション一体型貨物ターミナル
- ・ランプサイドに面した同一上屋内において、輸出入貨物の取扱を実現
限られた敷地を効率的に活用し、貨物取扱能力を極大化
上屋の運営に関するスペース・機材・人員の有効活用と最適配置
- ・事前登録による入場者・車両の管理並びに入場目的・行き先の管理を実現
空港にふさわしいセキュリティレベルを追求
- ・貨物取扱システムと連動したトラック誘導システムの導入
路上駐車を防止し、安全で効率的な動線を確保することで、ターミナル内外での円滑な交通を実現
- ・緑化計画及び太陽光発電の導入
21世紀の大都市圏拠点空港として、環境に配慮した貨物ターミナル運営を実施(エコ・エアポート)
- ・24時間365日眠らない貨物ターミナル

6. 新たな物流チェーンの可能性

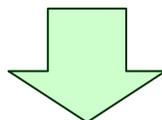
ターミナルの特徴

- ・国際線と国内線(ハブ空港)の一体連携
- ・24時間365日のオペレーション体制
- ・日本最大の消費地(東京)に近接



航空貨物の特徴

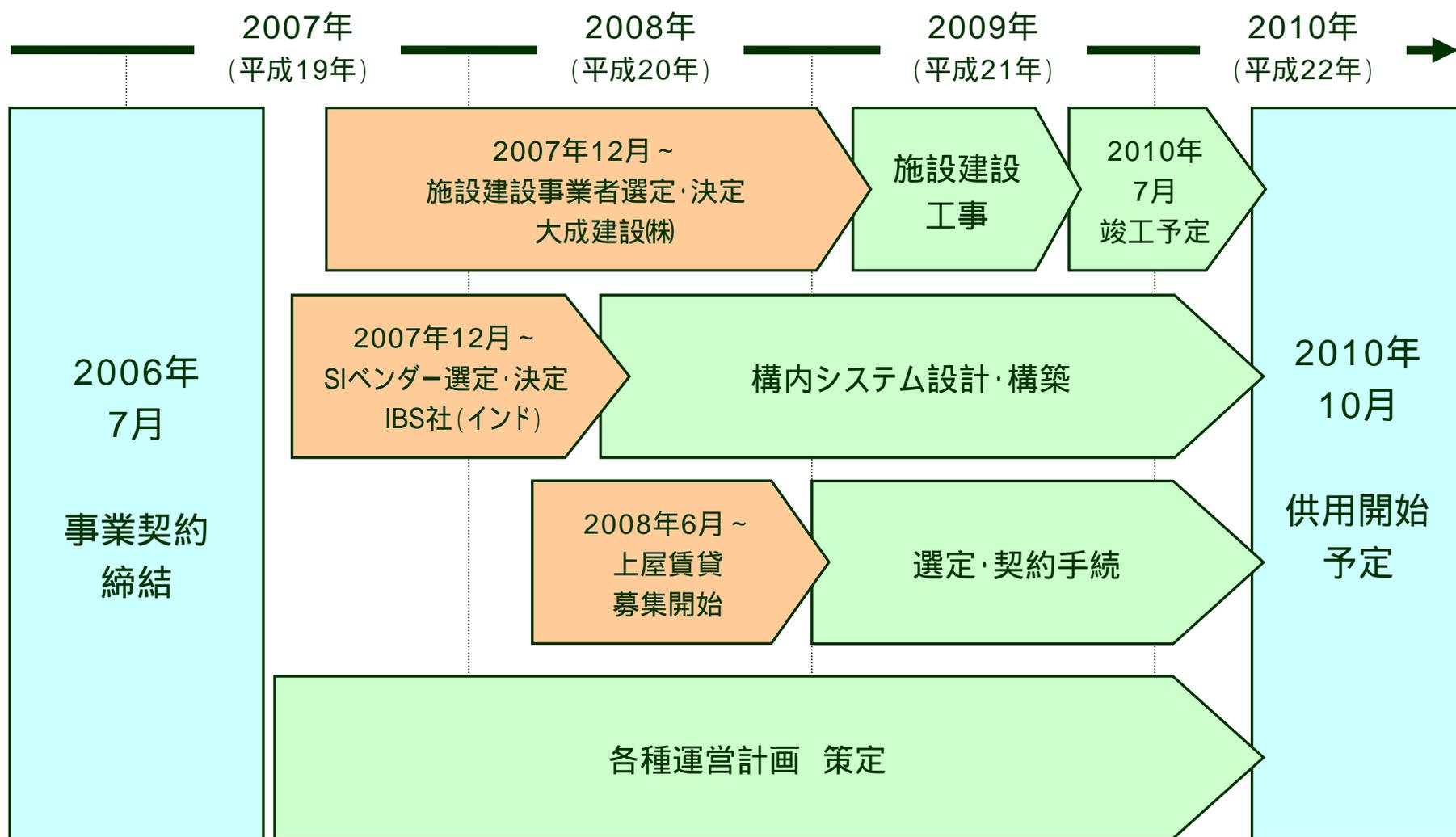
- ・高付加価値(半導体etc)
- ・季節性(食品、アパレルetc)
- ・緊急性(エクスプレス貨物、生鮮貨物etc)



物流革新への挑戦

- ・羽田以西からの高付加価値貨物集積
地理的特性からの輸送時間短縮
- ・地方にて生産された農産物や製品の海外展開
地方～(国内線)～羽田空港～(国際線)～海外
- ・輸入生鮮貨物の取り込みによる各市場との連携(ex.築地市場や大田市場)
深夜早朝時間帯での輸入後、即市場でのセリへ
- ・医薬品・医療機器に関する緊急輸送への対応
ハンドリング体制の構築、温度管理対応施設の整備
- ・成田 - 羽田間における有機的連携
両空港間での共同輸送体制構築

7. 事業スケジュール



【ご参考】経営理念・事業方針

経営理念

- ◆ **Mission: 使命**
首都圏の空の国際物流を担い、その機能の向上により豊かな未来社会の実現に貢献します
 - ◆ **Vision: 目指す姿**
知恵と工夫で日本の空の国際競争力向上に貢献する「**EDO**(Efficient, Dynamic, Optimized)エアカーゴターミナル」を目指します
 - ◆ **Values: 価値観、行動指針**
常に顧客の視点に立ち、公共性、公益性、公平性を追求します
安全の確保と環境の保全に全力を傾けます
現場で学び、現場を大切にす現場主義を旨とします
思いを夢に、夢を形に - 理想の実現に邁進します
コミュニケーションを大切に、風通しのよい企業風土を作ります
- ・ **E**fficient 時間と空間の効率化
 - ・ **D**ynamic 進化発展
 - ・ **O**ptimized 最適化の追求

事業方針

- ◆ **公共性を重視した公平なサービス提供を行います**
国内外を問わず多くの事業者に本施設をご利用頂けるよう公平なサービス提供を行います
国民の生活や経済活動を支える役割を果たすため、事業の安定性を実現しながら、高度な公共性・公益性を発揮します
- ◆ **国際水準のサービスレベルを実現します**
業務水準として国際水準のサービスレベルを導入し、本ターミナルの国際競争力を確保します
世界最高水準のサービスレベルを実現している香港エアカーゴ・ターミナルズ・リミテッドからのノウハウ移転を全面的に推し進めます
- ◆ **施設利用者の視点に立った機能提供型ターミナルを目指します**
施設利用者の視点に立ち国際航空貨物物流に求められる機能・サービスを積極的に提供します
航空会社・フォワーダー等に対して貨物上屋等の施設を賃貸すると共に、貨物取扱業務等の運営業務をターミナル会社自らが行うことで、公共性と公平性を確保しつつ競争性を発揮することにより、効率性向上や利用者負担軽減を実現します